



“ゴスペル = 福音” とは、良い知らせ・喜びの知らせのことです。「救い主イエスさまがあたえられ、その十字架の身がわりで私たちが救われる」というすばらしいものです。あなたはこの知らせをどのように受け取っておられますか？

じゅうじ か ずく
『十字架のことは、…救われるわれらには、神のちからなり。』
(せいしよ)



聖書のこと、神さまのことを、もっとくわしく知りたい方は、ご連絡ください。

文：石黒イサク



なぜ十字架なの？



病院や救急車、赤十字など人を助けるところのマークに、クロス=十字架が使われています。キリスト教会の屋根や外国の旗にも、衣服にもペンダントなどのデザインにも、よく見られますが、なぜそれほど十字架が愛されているのでしょうか？ それには深いわけがあります。

十字架とはなにか？

今から2000年ほど前、ローマという国が支配していたところで、とても悪いことをした人を死刑にする道具として十字架がつかわれていました。でもそれはあまりにも残酷だったので、やがて使われなくなったのです。

救い主のイエスさまは、そのおそろしい十字架にかかって死んでくださったのです。その後イエスさまを信じる人たちが“イエスさまの愛と救い”のシンボルとするようになって、世界に広まったのです。

神さまの約束とは？

世界をお造りになった神さまは、きよく正しい方です。私たち人間が神さまにしたがって幸せに生きることを願っておられます。残念ながら人間は、自分の好きな道をえらび、神さまに従わない悪い生き方をするようになってしまいました。どろぼうや人殺しだけではなく、悪いことぜんぶは神さまの前では罪と呼ばれ、そのために世界中どこでも悲しみや問題だらけです。



『一度死ぬることと、死にのち、さばきを受くることとの人に定まり』（ヘブル書9:27）

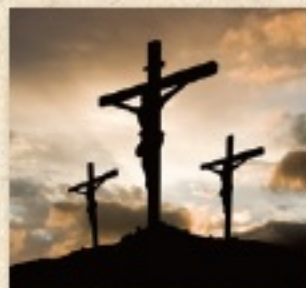
正しい神さまは、必ず罪に対するさばきをなさいます。

しかし神さまは私たち人間を愛して下さり、不幸の原因である罪を解決するために、救い主をあたえるという約束をしてくださいました。

イエスさまの十字架とは？

神様が人間となり、救い主としてこの世に来てくださったのがイエスさまです。イエスさまは神さまのことを人々に教えてくださり、きよい完全な生き方をされたのち、約束どおりに神さまのさばきと刑罰を受けるために身がわりになってくださいました。

『木(十字架)の上にかかりて、みずからわれらの罪をおのが身に負いたまへり。これわれらが罪につきて死に、義につきて生きんためなり。…』（ペテロ前書2:24）と聖書に記されているように、罪のないイエスさまが、私たちの罪を背おって十字架にかかり、さばきとバツをぜんぶ受けて死んでくださいました。十字架にはイエスさまの愛があらわされています。



神さまの救いとは？

イエスさまの身がわりを信じる人の罪を、神さまはぜんぶゆるして下さり、新しいいのちを与えていつまでも神さまとともに生きることができるようになってくださいました。

イエスさまは死後三日目に、復活されて今も生きておられます。そのことは神さまのゆるしが確実であることと、新しいいのちが与えられるというしるしです。

このようにして神さまの救いは、すばらしいプレゼントとしてあなたにとどけられたのです。

